

# 水稻作況試験情報 【平成 25 年産 普通期栽培】

香川県農業試験場（7月10日現在）

田植後は気温がやや低く多雨傾向であったが、7月以降は極高温で経過した。田植 20 日後の生育は、コシヒカリ・ヒノヒカリともに、過去2か年平均に比べて、草丈が短く、茎数が多くなっている。

※農業試験場の移転により、綾川町の試験ほ場における生育データの蓄積が無いため、過去2か年平均値との比較とした。おいでまいについては、初年目となるために過去データとの比較はない。

## 1. 作況試験の方法

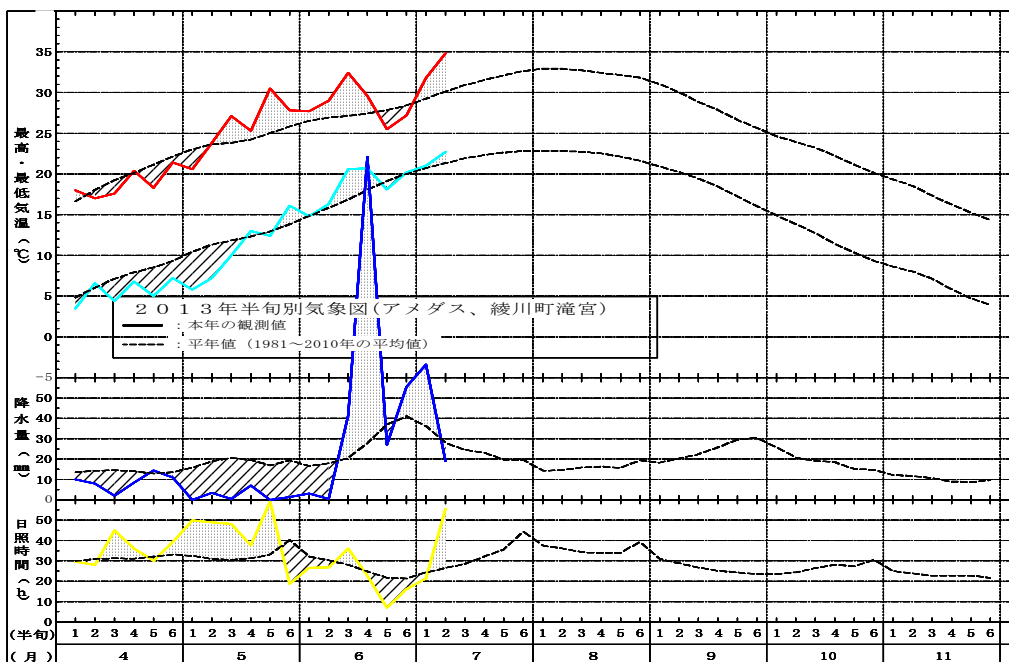
- 1) 供試品種：コシヒカリ、ヒノヒカリ、おいでまい
- 2) 播種期：5月31日 移植期：6月20日
- 3) 育苗方法：播種後、加温出芽させ、その後露地育苗した。
- 4) 栽植密度及び移植方法  
18.5 株/m<sup>2</sup> (30 cm×18 cm)、1 株 4 本程度、機械移植  
なお、生育調査株は移植直後 1 株 4 本に調整した。
- 5) 本田施肥 (N成分kg/a)

	基肥	穂肥 I (予定)	穂肥 II (予定)
コシヒカリ	0.3	0.15	0.1
ヒノヒカリ	0.5	0.25	0.15
おいでまい	0.5	0.25	0.15

- 6) 使用肥料：化成肥料 (N : P<sub>2</sub>O<sub>5</sub> : K<sub>2</sub>O=14 : 10 : 12%)
- 7) 1 区面積及び区制 1 区 250 m<sup>2</sup> (コシカ 500 m<sup>2</sup>)、2 反復

## 2. 具体的データ

平成 25 年産水稻 気象表 (7月2半旬まで)



平成25年度 水稻作況試験生育調査結果(7月10日現在)

調査 (月/日)	供試品種 項目	コシヒカリ			ヒノヒカリ			おいでまい
		本年	過去2か年 平均値	差(比)	本年	過去2か年 平均値	差(比)	本年
田植時 (6/20)	草丈(cm)	13.5	16.4	▲ 2.9	12.6	13.7	▲ 1.1	11.4
	主稈葉数(枚)	2.6	2.6	0.0	2.4	2.7	▲ 0.3	2.4
田植20日後 (7/10)	草丈(cm)	33.9	40.6	▲ 6.7	26.9	35.1	▲ 8.2	29.8
	茎数(本/m <sup>2</sup> )	286	165	173 %	302	189	160 %	314
	主稈葉数(枚)	7.3	6.9	0.4	6.6	7.2	▲ 0.6	7.1
田植30日後 (7/20)	草丈(cm)		51.9			45.3		
	茎数(本/m <sup>2</sup> )		435	%		504	%	
	主稈葉数(枚)		9.3			9.4		
田植40日後 (7/30)	草丈(cm)		74.1	—		66.1	—	
	茎数(本/m <sup>2</sup> )		531	— %		537	— %	
	主稈葉数(枚)		10.9	—		11.0	—	
播種期(月/日)		5/30	5/30	0	5/30	5/30	0	5/30
田植期(月/日)		6/20	6/20	0	6/20	6/20	0	6/20
幼穂形成始期(月/日)			7/28	—		8/7	—	
出穂期(月/日)			8/15	—		8/28	—	
主稈止葉葉数(枚)			12.9	—		14.0	—	
穂揃期穂数(本/m <sup>2</sup> )			419	— %		419	— %	
稈長(cm)			93.2	—		87.4	—	
穂長(cm)			18.2	—		18.1	—	
成熟期(月/日)			9/20	—		10/11	—	

注1) 試験場が移転したため、平年値のデータはない。おいでまいについては、初年目のため過去のデータはない。  
 注2) コシヒカリ、ヒノヒカリの差(比)は、過去2か年(平成23、24年)との比較で示した。なお、茎数については対比(増減%)で表し、これ以外の項目については対差(実数値)で表した。なお▲は少ない、短い、早いことを示す。

# 平成25年産水稻 気象表 (過去2年平均対比)

参考

アメダス：綾歌郡綾川町滝宮

——：本年の観測値

-----：過去2か年平均値

